

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

平成も終わりですね

有 田 繁 広

(有田医院 院長)

本年もあと僅かとなりました。ハロウィンの騒動も過ぎ去りクリスマスのイルミネーションが街を華やかに飾っています。平成も残すところ5ヶ月程になりました。メーカーさんから、カレンダーや年号早見表が届いている頃と思います。来年は、新天皇即位とともに改元があります。次の元号は何になるのでしょうか。改元に際し色々と変更があり、私たち医療機関も電子カルテ、レセコンなど変更処理が必要になることでしょう。免許証、保険証などの生年月日は年号表記です。そろそろ西暦表記になればいいですね。

元号は、通常天皇が即位された年に新しい元号が制定されるのですが、天災や戦乱による改元も不定期に行われていました。また、定期的には、中国の緯書にもとづく、60年に一度政治的変革や、革命が起こると運に当たるとの思想である辛酉革命(しんゆうかくめい)、甲子革命(かっしかくれい)の説によって、辛酉および甲子の年に改元することが王朝時代から行われていました。こうして一人の天皇の在位中に数回の改元が行われたが、明治以後は明・清と同じく、一世一元号制が行われるようになったとの事です。幕末の孝明天皇は、即位時は、嘉永7年、内裏炎上、地震(安政の大地震)、黒船来航などの

災異による改元により安政7年、江戸城火災や桜田門外の変などの災異による改元万延2年、辛酉革命による改元文久4年、甲子革命による改元元治2年と17年間で4回の改元が行われています。当時の国民生活には、なんの影響もなかったと思いますが、現代では考えられませんね。

1979年10月、大平内閣により、元号法に定める元号の選定について、具体的な要領を定められています。元号は、「候補名の考案」、「候補名の整理」、「原案の選定」、「新元号の決定」の各段階を踏んで決定される。まず、候補名の考案は内閣総理大臣が選んだ若干名の有識者に委嘱され、各考案者は2ないし5の候補名を、その意味・典拠等の説明を付して提出する。総理府総務長官(後に内閣官房長官)は、提出された候補名について検討・整理し、結果を内閣総理大臣に報告する。このとき、次の事項に留意するものと定められている。

1. 国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること。
2. 漢字2字であること(3文字以上は不可。但し、749年から770年にかけては、漢字4文字の元号が使用されている)。
3. 書きやすいこと。
4. 読みやすいこと。



5. これまでに元号又はおくり名として用いられたものでないこと(過去の元号の再使用は不可)。
6. 俗用されているものでないこと(人名・地名・商品名・企業名等は不可)。

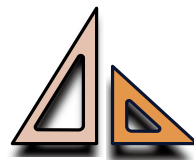
整理された候補名について、総理府総務長官、内閣官房長官、内閣法制局長官らによる会議において精査し、新元号の原案として数個の案を選定する。全閣僚会議において、新元号の原案について協議する。内閣総理大臣は、新元号の原案について衆議院及び参議院の議長及び副議長に連絡し、意見を聴取する。そして、新元号は、閣議において、改元の政令の決定という形で決められる。出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

新元号がどのようになるかも楽しみ? ですが、5月の新天皇即位により9連休が決定されています。即位をお祝いするとともに連休をどう過ごすか、皆様は決めておられるのでしょうか。在宅患者さんをお持ちの先生は、悩ましいですね。浪速区は、ブルーカードシステム、Aケアカードがあり、休暇中もお役に立つと思います。ご自身の健康にも充分気をつけて日々の診療を滞りなく行える事を願っています。

来年が皆様にとって幸多い年になりますように。



理事会報告



◎平成 30 年度 11 月定例理事会
日 時 平成 30 年 11 月 30 日〈金〉
午後 8 時～10 時 5 分
場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 次期介護認定審査委員について

＜澤井会長＞

浪速区保健福祉センターより推薦依頼があった。

期限が迫っていたため、先に現在の審査委員に留任いただけるか確認したところ、全ての審査委員より引き続き留任するとの回答があった。

任期は、2019 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日である。

協議の結果、了承。

また、障がい認定審査委員については、今年度をもって橋本博史医師（はしもとクリニック）が辞任されることとなったため、大阪精神科協会（鍵本伸明医師）より新たに就任頂ける医師の推薦依頼があった。検討の結果、次年度からは山本大介医師（桜川ものわすれクリニック）を推薦することとなった。

2. 新年互礼会の次第・役割分担について

＜澤井会長＞

次第・役割分担の確認をしたい。

協議の結果、司会は岡藤理事、閉会のあいさつは久保田副会長に決定。
来賓については一部変更する。

3. 「地域包括診療加算・地域包括診療料に係

るかかりつけ医研修会」の開催について
＜徳田副会長＞
担当と開催日等を決めたい。

協議の結果、担当は有田副会長に決定。
また、開催候補日を2月17日〈日〉か
2月24日〈日〉とし、出席希望者に対
していずれの日程を希望するかFAX
にて確認することとする。

4. 病診連携委員会の委員について
＜久保田副会長＞
浪速区相談支援室を本委員会の委員とし
て就任願いたい。

協議の結果、了承。

5. 認知症講演会（平成31年2月22日〈金〉）
のあいさつについて ＜橋村理事＞
開会のあいさつの担当を決めたい。

協議の結果、有田副会長に決定。

6. 産業医の募集について ＜木田理事＞
以下の事業所より産業医（女性医師希
望）の依頼があった。
事業所名 （株）バンジー
所在地 大阪市浪速区日本橋東 1-11-8
職種 婦人靴の製造業

産業医（女性医師）より確認することと
なった。

7. 職員の冬季賞与について ＜木田理事＞
例年どおりと決定。

8. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
（11月16日〈金〉） ＜澤井会長＞
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

- (1) 大阪府医師会平成30年度「ウェルカムパーティ Part II（研修卒業）」開催の件
 - (2) 大阪府在宅医療総合支援事業の件
 - (3) 2019年ゴールデンウィークにおける急病診療所の診療体制の件
 - (4) 大阪府医師会医学会雑誌「大阪医学」への投稿の件
 - (5) 12月度行事・会合日程の件
- ▷協議
▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について
（11月19日〈月〉） ＜澤井会長＞
次第は次のとおり。

▷協議事項

- (1) 学術活動への補助金支給の件
 - (2) 平成30年度各区医師会分担金徴収に関する件
 - (3) その他
- ▷連絡事項
- (1) 平成30年度上半期大阪市ふれあいDOTS（医療機関）事業協力金配分の件
 - (2) 大阪市立保育所生活管理指導表変更の件
 - (3) 平成31年度大阪市立保育所嘱託医師委嘱手続の件
 - (4) 2019年ゴールデンウィークにおける急病診療所の診療体制の件
 - (5) その他

▷報告事項

- (1) 第57回十四大都市医師会連絡協議会（10月27日～10月28日）報告の件
- (2) 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会（11月8日）報告の件
- (3) 第2回大阪市医療・病床懇話会（11月12日）報告の件
- (4) その他

▷会議日程

（詳細 略）

3. 府医創立 71 周年記念式典について

(11 月 3 日〈土〉) <澤井会長>

次第は次のとおり。

▷開式の辞

▷大阪府医師会長式辞

▷表彰

(1) 医学教育功労者

(2) 保健文化賞受賞記念大阪府医師会長賞

(3) 日本医師会最高優功賞受賞危険大阪府
医師会長賞

▷功労会員感謝状贈呈(白寿・米寿会員
を含む)

▷永年勤続本会職員表彰

▷謝辞

▷閉式の辞

(詳細 略)

4. 大阪市立大学病院との面談について

(11 月 12 日〈月〉) <澤井会長>

柴田副院長(患者総合支援センター長)
と患者支援課より 3 名が来会され、市大
の取り組み等を説明された。

(詳細 略)

5. 全国医師会・医師連盟医療政策研究大会
について

(11 月 25 日〈日〉) <澤井会長>

次第は次のとおり。

▷日本医師会医療政策講演会

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 講演「日本医師会の医療政策」

日本医師会会長 横倉義武

(4) 講演「日本の医療 その課題と展望」

慶応義塾大学商学部教授

権丈 善一 先生

(詳細 略)

6. 第 45 回法円坂地域医療フォーラムにつ
いて

(10 月 27 日〈土〉) <有田副会長>

次第は次のとおり。

▷テーマ「産婦人科 up to date」

(1) 第一部

①大阪医療センターの産婦人科について

②ここまでできています、腹腔鏡手術の
適応 ～QOL と侵襲と確実性～

③当院での婦人科癌治療成績

(2) 第二部

①卵巣がんの最新治療

②腹腔鏡 Advanced surgery

～悪性腫瘍へ～

(詳細 略)

7. 浪速区相談支援室の報告について

<有田副会長>

資料のとおり、活動報告があった。

(詳細 略)

8. 府医医学会総会について

(11 月 11 日〈日〉) <久保田副会長>

次のテーマで発表をおこなった。

テーマ「地域医療連携システムの方向性・
医療介護連携と地域病診連携の方向性」

(詳細 略)

9. 病診連携委員会について

(11 月 26 日〈月〉) <久保田副会長>

次第は次のとおり。

▷第 88 回病診連携委員会報告について

▷浪速区内にある 3 病院の A ケアカード
の進捗状況について(自己紹介を含む)

▷浪速区外にある病院と地区医師会との
取組みについて(自己紹介を含む)

▷ブルーカード登録数について

▷その他

(詳細 略)

10. 医療情報委員会について

(11 月 29 日〈木〉) <久保田副会長>

次第は次のとおり。

▷報告事項

(1) 1) 日医「都道府県医師会情報システ
ム担当理事連絡協議会(10 月 10 日)」
について

(2) 「給管鳥」「訪看鳥」(オンプレミス版)

- の販売終了について
- ▷協議事項
- (1) 日本医師会「医療情報システム協議会
(平成31年3月2・3日)」の参加者について
- (2) 府医「医療情報に関する講演会」の講師等について
- (3) 諮問事項について「医療における ICT
化施策への(医師会・医療機関の)対応について～オンライン資格確認、医療等 ID の導入などを見据えて」
- (4) その他
- ▷今後の日程
- (詳細 略)

11. 医師とケアマネ連絡会について
(11月10日〈土〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷浪速区医師会会長
▷「事例検討」
▷その後の状況報告
▷医師会より「自立支援型ケアマネジメント検討会議」について
▷総評
医師7名 ケアマネ31名 包括3名
合計41名の出席があった。
(詳細 略)

12. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(11月21日〈水〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷居宅介護支援事業者連絡会新担当者紹介
▷事例検討(医師会)
▷広報なにわ3月号特集記事について
▷「大阪市在宅医療・介護連携事業に関する医療施設等アンケート調査報告書」(大阪市健康局)について
▷その他
(詳細 略)

13. 認知症初期集中支援推進事業第3回関係者会議について

- (11月30日〈金〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷出席者紹介
▷今年度のオレンジチームの支援状況報告
▷出張オレンジカフェ報告
▷強化型包括支援センターの取り組み
(詳細 略)

14. レクリエーションについて
(11月11日〈日〉) <川田理事>
ピアノの夕べ(大阪大学中之島センター交流サロン)を開催した。
出席者は、会員12名、家族13名、小学生5名、乳幼児1名の計31名であった。
(詳細 略)

15. 学術講演会について
(10月20日〈土〉) <富永理事>
講演内容は次のとおり。
演題 アレルギーと腸内フローラ
講師 松原徳洲会病院 小児科 部長
櫻井 嘉彦 先生
出席者数 11名
共催 ビオフェルミン製薬株式会社
情報提供 ビフィズス菌整腸剤「ビオフェルミン錠剤」
(詳細 略)

16. 第38回 Face to Face の会世話人会について
(11月17日〈土〉) <木田理事>
次第は次のとおり。
▷世話人会議事録報告
▷第37回「Face to Face の会」報告
▷第38回「Face to Face の会」について
▷眼科初診における地域連携にかかる予約枠の運用開始について
▷講演可能な演題・最新治療について
▷その他
(詳細 略)

17. 社会保険講習会について
(11月29日〈木〉) <岡藤理事>
講演内容は次のとおり。

演題 最近の指導・監査の動向と保険診療、医療における人権問題について
～審査上の取扱いを含めて～

講師 大阪府医師会 理事 栗山 隆信 先生
出席者は、会員 12 名、医療従事者 24 名
合計 36 名であった。

(詳細 略)

18. 浪速区健康展について

(10 月 27 日〈土〉) <中村理事>
浪速区民センターにて開催された。澤井
会長が開会の挨拶をおこない、本会はポ
スター掲示と健康相談を実施、6 名の会
員が担当した。詳細は次のとおり。
来場者数 204 名(スタッフ含)
健康相談数 17 名(内科 6 名、眼科 2 名、
整形外科 5 名、皮膚科 2 名、耳鼻咽喉科
2 名)
健康講座 薬剤師会「薬剤師のワンポイ
ントアドバイス」

(詳細 略)

19. 医療問題研究委員会について

(11 月 14 日〈水〉) <福永理事>
次のテーマで講演があった。
講演 これからの地域医療構想と地域包
括ケアを考える～社会保障として
の医療を守るために～

講師 大阪府医師会副会長
中尾 正俊 先生

(詳細 略)

20. その他

なし。

次回理事会

平成 30 年 12 月 21 日〈金〉 午後 8 時～

11 月度

学術講演会報告

日 時 11 月 17 日〈土〉 午後 2 時

演 題 腫瘍循環器学

～がんと循環器の二刀流?～

講 師 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

腫瘍循環器科 主任部長

藤田 雅史 先生

出席者数 17 名

共 催 第一三共株式会社

情報提供 経口 F X a 阻害剤

リクシアナ錠・OD 錠について

担 当 富永良子

がんと循環器

1. 腫瘍循環器学(Onco-cardiology)とは

がん治療の進歩によりがん患者の生命予後が改善され、近年では全がん患者の 10 年生存率は約 50% となっている。これらの患者が循環器疾患を合併することが増加しており、また心毒性を有する抗がん剤治療によっても循環器疾患を発症することから、適切な診断・治療が求められている。これらの背景から今後はがん専門医と循環器専門医が協力し、がん患者の診療に当たる必要があり、腫瘍循環器学(Onco-cardiology)という学問が注目されるようになり、本年 11 月には第 1 回日本腫瘍循環器学会学術集会が開催された。

抗がん剤(アントラサイクリン系やシクロフォスファミド、トラスツズマブ、TKIs など)によって引き起こされる心機能低下は、CTRCD (Cancer Therapy Related Cardiac Dysfunction)と呼ばれている。LVEF が 53% を下回る 10% 以上の低下とされ、 β ブロッカーとともに ACEi / ARB の投与が推奨されている。心毒性のある治療を受ける患者は心不全に移行する可能性があり、治療前に心

機能を評価し、厳格にリスク管理を行う必要がある。

2. がん患者における血栓塞栓症

がん治療によって起こる様々な循環器合併症が挙げられるが、本日は血栓塞栓症に的を絞り講演する。

近年、がん関連血栓症(Cancer-associated Thrombosis : CAT)という概念が提唱されている。がんが増殖・転移する際には様々な凝固促進因子を放出し、凝固系が賦活化されることに加え、化学療法剤によるがん治療によっても血栓傾向を呈するため、血栓塞栓症を発症する頻度が高く、特に十分な注意が必要である。一方で、がん患者は出血リスクも高く、病態を考慮した慎重な抗凝固療法の選択が必要である。欧米における VTE (Venous Thromboembolism : 静脈血栓塞栓症) 治療の第一選択薬は低分子量ヘパリンであるが、わが国では治療薬としての適応がなく使用できない。ワルファリンは優れた抗凝固薬であるが、抗がん剤との薬物相互作用に注意を要する。肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2017年改訂版)では未分画ヘパリン・フォンダパリヌクス・ワルファリンと共に DOAC が推奨されている。海外で行われた大規模臨床試験 Hokusai-VTE Cancer では欧米で第一選択薬となっている低分子量ヘパリンとの非劣性が検証され、わが国におけるがん患者の VTE 治療において、低分子量ヘパリンの代替薬として期待される。

がん治療に心毒性があることを認識し、これまでの経験を活かしさまざまな病態を呈するがん患者さんの、がん治療が完遂できるように循環器的な診療を行っていききたい。



新年互礼会のご案内

平成 31 年の新しい年を迎えるに当たり、恒例の新年互礼会を開催することといたしました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席下さいますようご案内いたします。

日時 平成 31 年 1 月 19 日(土) 午後 6 時～
場所 スイスホテル南海大阪
35 階「シェルブルー」
TEL 06 - 6646 - 1111

※出欠についてのお返事は、医師会まで
12 月 26 日にご連絡をお願いいたします。

1 月度学術講演会のお知らせ

1 月の浪速区医師会講演会は おやすみです。
次回多数の先生方の参加をお待ちいたします。

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。



浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

11月の相談件数は、12件でした。

病院から、かかりつけ医希望が5件頂き、浪速区医師会の在宅ネットワークシステムにて速やかに在宅主治医を決めることができました。個別に主治医をお願いしたケースもあり、ご協力頂きありがとうございました。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（H30. 11 月度）

① 医科	1 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	1 件
④ 病院 地域連携相談室	3 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	3 件
⑦ 地域包括支援センター	1 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	2 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他（研修機関）	1 件
合 計	12 件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	5 件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	5 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	1 件
	⑥ 訪問看護に関して	0 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	1 件
② 介 護	① ケアマネに関して	1 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	1 件
	④ 介護の手続きに関して	2 件
	⑤ その他	0 件
	③ 退院支援に関して	0 件
	④ 看取りに関して	0 件
	⑤ その他（内容： ）	0 件
	合 計	16 件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒 556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル 50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

平成 31 年 1 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター
1月24日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 鈴木 晶子
眼 科 澤井 貞子
耳鼻科 大野 聡史

1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター
1月7日(月) 午後1時40分～3時30分
倭 和美

BCG 接種

- 保健福祉センター
1月17日(木) 午後2時～3時30分
有田 繁広・北村 栄作

急病診療所出務

- 中央急病診療所
1月19日(土) 準夜 15:00～22:00
佐伯 裕司・池田 秀博
- 今里休日急病診療所
1月3日(木) 10:00～17:00
稲岡 祥治・井上 宏之
福永 真也

大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員のための専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み 等)を是非ご利用ください。

いししんはドクターのクリニック経営をご融資でサポートいたします。

新規開業ローン

診療所ステップアップローン

診療所継承ローン

無担保型	限度額 3億円	期間 35年以内
有担保型	限度額 5,000万円	期間 20年以内

- クリニック開業に関する資金
- クリニックの移転や医業拡大に関する資金
- クリニック継承に関する資金
- 上記資金使途の他行借入金のお借換え

自動車の購入やディーラーローンお借換えに。

オートローン

無担保型	限度額 1,000万円	期間 7年以内
------	----------------	------------

- 大阪府医師自動車連盟の会員様は、金利優遇がございします。
- 個人名義で500万円以下のお申込みの場合は、原則 連帯保証人は不要です。

お子様の教育に関するあらゆる資金に。

教育ローン

無担保型	限度額 5,000万円	期間 20年以内
------	----------------	-------------

有担保型	限度額 3,000万円	期間 20年以内
------	----------------	-------------

住宅の耐震、バリアフリー工事にもご利用いただけます。

住宅リフォームローン

無担保型	限度額 5,000万円	期間 20年以内
------	----------------	-------------

当初5年間、当初10年間の固定金利型もございします。

- 自宅・セカンドハウスの
リフォーム資金に

●ローン金利についてはお問い合わせください。お申込時ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。●上記ローンは原則として、ご返済終了時にお借入れされる方の年齢が満75歳(開業及び継承ローンは満80歳)を超える期間でのお申込みはお受けできません。●上記ローンには、連帯保証人・手数料が必要な場合がございます。●ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望に沿えない場合がございます。何卒ご了承ください。●上記以外にも各種ローン商品を揃えております。詳細については下記の「融資お問い合わせ専用番号」までお気軽にお問い合わせください。

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14 (大阪府医師会保健福祉センター1階) 融資お問い合わせ専用番号 担当者が訪問することも可能です。

大阪府医師信用組合 ☎0120-947-604 受付9:00～17:00/土日祝休

ホームページ・メールGコード



平成 30 年度
浪速区医師会 レクリエーション ピアノの夕べ

厚生福利担当理事 川田 信哉

平成 30 年 11 月 11 日(日)恒例の浪速区医師会のお食事会が大阪大学中之島センター交流サロンで開催されました。

今回はピアノの夕べということで、佐々木英里奈さんに演奏をお願いし、まず最初にリスト作曲「愛の夢」を弾いていただきました。

食事中は、“各々の年齢層に合わせた馴染みあるクラシック佳曲からディズニー名曲、映画音楽”をテーマに「めぐり逢い」「ノクターン第 2 番」「美女と野獣」「ムーンスバー」「虹の彼方に」など 12 曲を演奏していただきました。

お食事はリーガロイヤルホテル料理長と交渉を重ね、練りに練った和洋中折衷のメニューとしました。

特に最初の一皿「真鯛とピンチョウマグロ

のカルパッチョ風と海の幸のサラダ仕立て」は、味だけでなく見た目も凝った感じに仕上がっていました。次は「トリュフ香るコンソメのフランと甲殻類のスープ」。フランは茶碗蒸しのような味わい。甲殻類(エビ? カニ? その他?)の濃厚な紅殻色のスープが熱々で、黄白色のフランと二層になっておいしさが最高一品でした。中之島センター特製「海老とお魚のチリソース」もなかなか。

レストランで用意された白ワインも飲みやすく、原田直己先生と福永真也先生ともども、ご機嫌でいい顔色に出来上がりました。

ピアノ演奏の後は各ファミリー毎に近況報告をしていただき、和やかなうちにおひらきとなりました。







あとがき

竹中 秀裕

◆平成 30 年も残り少なくなりました。来年は改元が行われますので、今月が平成最後の師走となります。何か名残り惜しいような気も致します。改元に関しては、有田先生が巻頭言で詳しく解説してくれているのでよく分かりました。しかし、改元というのは大変な事ですね。我々もカルテ、レセコンを始め色々な変更が求められ、大きな影響を受けそうです。今後年令を数えるのも元号からだとかやこしくなります。明治は元年から 45 年 7 月 29 日まで、大正は元年 7 月 30 日から 15 年 12 月 24 日まで、昭和は元年 12 月 25 日から 64 年 1 月 7 日まで、平成は元年 1 月 8 日から 31 年 4 月 30 日までとなります。

こう考えると西暦表記の方がずっとすっきりするように思えますが、元号には何ともいえない愛着があり、生年月日はやはり昭和とか平成がいいですね。年の暮に無駄な話をしてしまい申し訳ありません。

◆さて、皆さんは本年 12 月 24 日が何の日か覚えておられるでしょうか。そうです。本会創立 65 周年の記念すべき日なのです。本会は昭和 28 年 12 月 24 日、新制「社団法人浪速区医師会」としての第 1 歩を踏み出しました。初代会長上原正成以後 13 代(現)澤井貞子会長に至るまで 65 年間、先人の努力にて「見上げる程の太木に育ったとは申し上げにくいかわかりませんが、小ぶりながらピリリと辛いユニークさを持った成長（故落合政明会長）」を続けてまいりました。伝統である「和」の精神を基に「和して同ぜず」を腹にすえて今後も成長し続けることを祈念いたします。

◆「区医だより」も本年で創刊以来 50 年を越えました。その第一号は昭和 42 年 7 月発行の「浪速区医師会報」になります。その後、若干欠けた月もあったようですが昭和 45 年 11 月から名称を「区医だより」と改め、今

日に至っています。昔は会員からの投稿も多く、随筆、エッセイ、旅行記等で充実していたようです。最近は内容に少し寂しい思いもあります。会員のための広報誌ですので、大小長短にかかわらず種々の投稿をお願いします。ともあれ、わずか数枚の印刷物ですが 50 年間続いている「区医だより」は今後も浪速区医師会の歴史を刻んでくれるものと思います。

◆最後になりますが、平成年間の大きな出来事として、浪速区医師会館の新築、移転がありました。現在の会館に移転したのが平成 21 年 5 月ですので、来年 5 月で 10 周年になります。会館新築の際、資金不足のため、全会員にお願いし、「借入金」として 1 口 50 万円の協力を求めました。その際の約束として「借入金は無利息だが、内部留保額が借入金総額に達した場合、全額返済する。」とあります。最近やっとその目処がたったと聞いております。全会員に返済出来れば、当時の責任者の 1 人として小生も肩の荷がおりる思いです。来年が明るいよい年でありますように祈念して本年最後のあとがきとさせていただきます。

目次	ページ
巻頭言	
平成も終わりですね 有田 繁広	1
理事会報告(11月開催)	2
11月度学術報告 富永 良子	6
新年互礼会のお知らせ	7
1月度学術講演会のお知らせ	
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
浪速区医師会レクリエーション 川田 信哉	10
あとがき	12

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 藤吉理夫
印刷所 株式会社 サ ビ